



茨生を考えるフォーラム  
かえんぼ

## 目次

1	ごあいさつ	1
	(特定非営利活動法人かくれんぼ 理事長 水野千恵子)	
1	事業の経緯	2
2	事業内容	2
3	プログラム	2
4	事業の成果	3
5	共生を考えるフォーラム実行委員会	3
6	共生を考えるフォーラム事務局	3
7	事業契約、協力企業	3
8	来場者アンケート集計結果	4
9	アンケート結果の公表について	15
10	事業成果に対する事務局の見解	16

## 事業報告にあたってのごあいさつ

特定非営利活動法人 かくれんぼ  
理事長 水野千恵子

拝啓 みなさまにおかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、特定非営利活動法人かくれんぼは公益財団法人 J K A の補助事業者として選定をいただき平成 28 年 2 月 28 日に「共生を考えるフォーラム」を開催いたしました。

このフォーラムはお年寄りも、障害のある方も、大人も、子どもも地域で暮らす全ての人が支え合い、共に生きるためにはどのようにするべきなのか？私たちに何ができるのか？という素朴な疑問から始まった企画です。

その趣旨にご賛同いただいた多くの方のご助力により「共生」を考えるきっかけ作りをみなさまにご提供できたことを大変嬉しく思います。

私たちは「地域で暮らす全ての人が共に生きる事ができる社会」の実現のため、市民の方々に始まり、行政、地域医療、地縁組織、地域で活躍する N P O の連携を大切にし、これからも活動を継続することをここにお約束し、ご挨拶にかえさせていただきます。

最後に「共生を考えるフォーラム」にご協力いただいた全ての方に深く感謝し、今後の相変わらぬご指導をお願い申し上げます。ありがとうございました。

### 追記

今回のフォーラムを実施するにあたり貴重なご意見を数多くいただき、基調講演およびディスカッションにご出演いただいた厚生労働省 社会・援護局保護課自立推進・指導監査室 室長 荒川英雄氏が平成 28 年 4 月 24 日に永眠されました。

本事業は故人の多大なご指導と皆様のご協力のおかげで達成された事業であり、生前の熱意あふれる行動に深く感謝いたします。

我々は故人が本事業において提示された「自助」「互助」「共助」「公助」の教えを後の世代に引き継ぐべく「共生」に関する活動を続けてまいります。

荒川英雄様 ありがとうございました。

**共生を考えるフォーラム実行委員会**  
**特定非営利活動法人かくれんぼ**

## 1 事業の経緯

本事業は障がい者、高齢者、おとなから子どもまでが地域の中でともに等しく生きるための「共生」をテーマとした福祉フォーラムの開催を特定非営利活動法人かくれんぼが事業計画を行い、JKAの補助事業として採択され、実施された事業である。

## 2 事業内容

**主催** 特定非営利活動法人かくれんぼ

共生を考えるフォーラム実行委員会

**後援** 名古屋市高齢福祉部高齢福祉課 名古屋市教育委員会

**日時** 平成27年2月28日（日）9：30～16：30

**場所** 愛知県女性総合センター ウィルホール

## 3 プログラム

① 開会式

② ひびき・鼓打磨 太鼓演奏（障害をもつ児童とその親による団体）

③基調講演 厚生労働省 社会・援護局保護課自立推進・指導監査室  
室長 荒川英雄

④特別講演 オレンジホームケアクリニック 代表 紅谷浩之

⑤ディスカッション 「これからの医療と介護どうなるの？」

司会 厚生労働省 荒川英雄

パネラー オレンジホームケアクリニック 代表 紅谷浩之

さわやか福祉財団 代表 天谷まり子

たけなか外科内科クリニック 代表 竹中拓晴

長久手市市役所 福祉部次長兼福祉課長 清水修

⑥昼休憩

⑦STUMP公演（障害者施設で働く障がい者によるダンスチーム）

⑧あいち福祉ネット「認知症紙芝居」

⑨増田太郎バイオリン公演（盲目のバイオリニスト）

⑩対談 「お互いさまのまちづくりって？」

司会 特定非営利活動法人かくれんぼ 理事長 水野千恵子

パネラー 長久手市市長 吉田一平

名古屋市健康福祉局高齢福祉部長 松尾俊憲

南医療生活協同組合 成瀬幸雄

⑪フラピカケ・フラハイビスカス公演（高齢者フラダンスチーム）

⑫閉会式

#### 4 事業の成果

来場者 約 800 人

来場者アンケート回収 520 部

本事業においては来場者にアンケート調査を行い、集計結果を事業成果物とした。

#### 5 共生を考えるフォーラム実行委員会

名古屋市市会議員 斉藤亮人

長久手市福祉部次長兼福祉課長 清水修

愛知県立大学教授 田川香代子

特定非営利活動法人ネットワーク大府 理事長 矢澤久子

特定非営利活動法人一宮まごころ 理事長 諫山和敏

特定非営利活動法人かくれんぼ 代表 水野千恵子

#### 6 共生を考えるフォーラム事務局

特定非営利活動法人かくれんぼ 事業統括 水野千恵子

特定非営利活動法人かくれんぼ 事業進行 大野将宏

事業進行 岡田彰将

特定非営利活動法人かくれんぼ 事業広報 中西美千花

#### 7 事業契約、協力企業

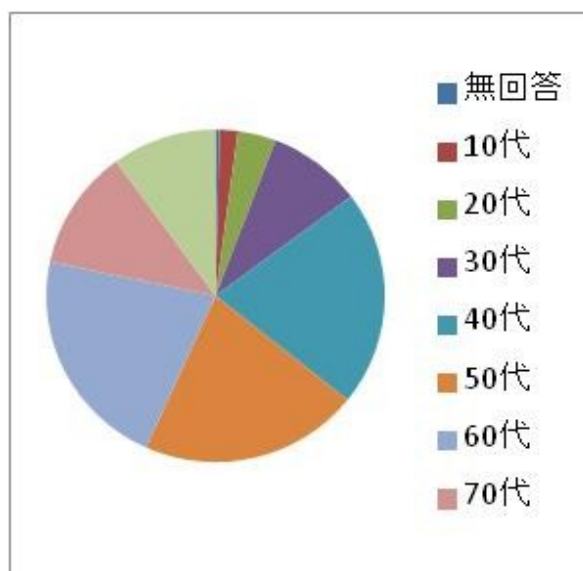
- ・オレンジホームケアクリニック
- ・たけなか外科内科クリニック
- ・特定非営利活動法人 さわやかさばえ ボランティア虹
- ・南医療生活協同組合
- ・コングレ愛知グループ
- ・東京カラー印刷
- ・オフィスクリエイト
- ・ナカムラ工芸
- ・理想科学工業
- ・(株) ペルソン
- ・一般社団法人 愛知県聴覚障害者協会  
(順不同)

## 8 来場者アンケート集計結果（来場者アンケート回収 520 部）

- ・来場者にアンケートを配布。
- ・退場時にアンケートを記入していただき回収。
- ・集計は共生を考えるフォーラム事務局で行った。
- ・プログラムに関する意見、感想は報告書に記載。
- ・参加者からの意見は漢字、文脈のまちがいを訂正した他は、極力参加者の意見をそのまま記載した。
- ・意見の表記は順不同とした。

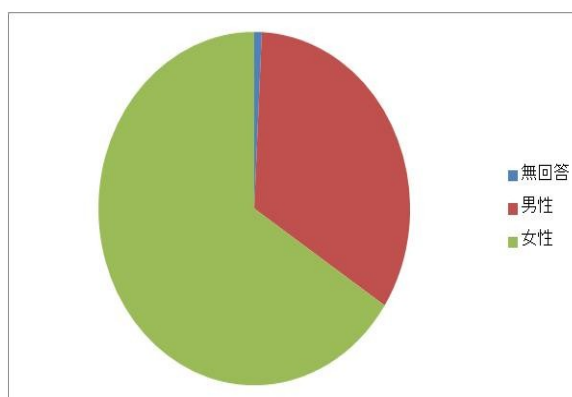
### ①年齢

無回答	2
10代	9
20代	19
30代	47
40代	109
50代	109
60代	112
70代	61
80代	52
90代	0



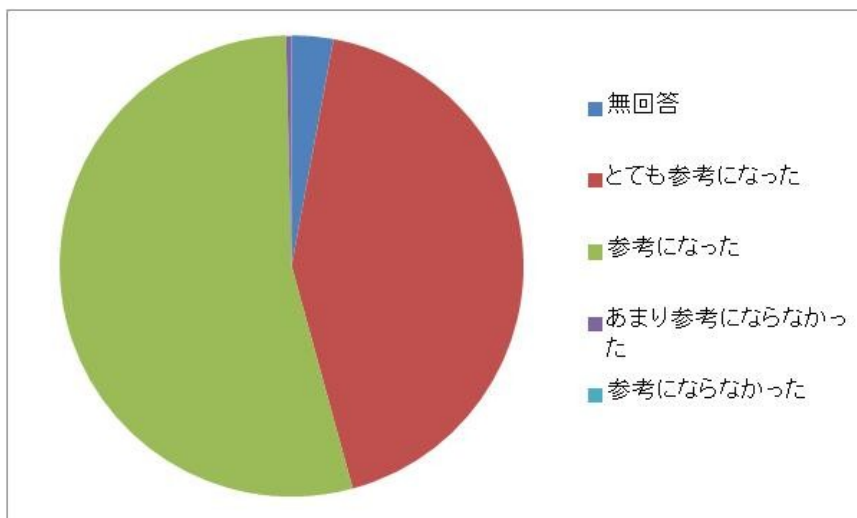
### ②男女比

無回答	4
男性	174
女性	342



### ③厚生労働省荒川氏の講演は参考になりましたか？

無回答	15
とても参考になった	223
参考になった	280
あまり参考にならなかった	2
参考にならなかった	0



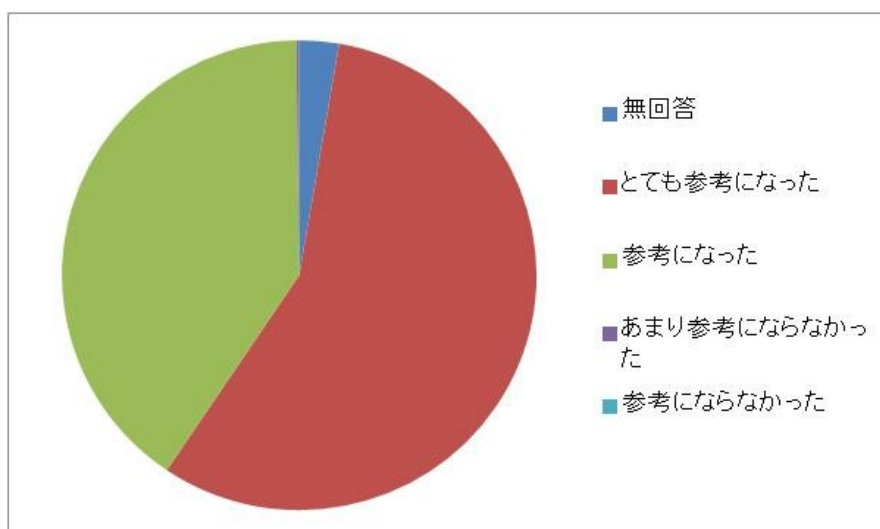
### ③に関する意見・感想

- ・相手を見て、まず人を見てコミュニケーションをとる事が大切だと感じました。
- ・自立を互助することを大切にするとゆう事が参考になりました。
- ・非常に参考になりました。
- ・健康とは身体的、精神的な健康だけでなく環境的なものや思いやりも必要だと思いました。
- ・日々の生活の中で思いやりを根底に持つての行動が地域貢献につながると感じました。
- ・自分もつスキルをどのように地域に役立てる事ができるのかを一人一人が考え、住みやすい地域、互助社会を目指したい。他人事ではなく、自分のこととして考える。
- ・理論的な持論の話でしたが、よくある厚労省のパワポ資料を出して説明する話よりも倍くらい面白かったです。
- ・今までにこのような機会に巡り合いが無かった。
- ・健康の本質を考えさせられました。
- ・初めてでしたので、三割くらいしかわかりませんでした。
- ・地域全体の話を聞け、勉強になりました。

- ・福祉を考える際のベース、人としての自然なありようについてわかりやすくお話しただけだ。
- ・総合事業の意味づけが理解できました。
- ・現在の貧困とは社会的孤独ということ。
- ・お役人が少しは現実を学ぼうとしているので変わってきたと感じた。
- ・我々は荒川先生のお話を聞く機会がありませんので今日はよかったです。
- ・五つのゲン（要素）、健康の本質、コミュニティーの意味的価値がわかりやすい説明でした。
- ・お世話する人、される人が対等な関係であることを学んだ。
- ・今日一日の流れみたいなあらすじがわかってこの講演があったから次が分かり易かったです。
- ・健康とは住み慣れた地域、コミュニティーづくり。
- ・自分の持っている特技（スキル）を活かせる場所が見いだせた。介護のみが福祉ではなく地域福祉にいろいろと貢献できることが分かった。
- ・互助という言葉 役割 仲間 ということが参考になった。

#### ④オレンジホームケアクリニック紅谷先生の講演は参考になりましたか？

無回答	14
とても参考になった	295
参考になった	210
あまり参考にならなかった	1
参考にならなかった	0





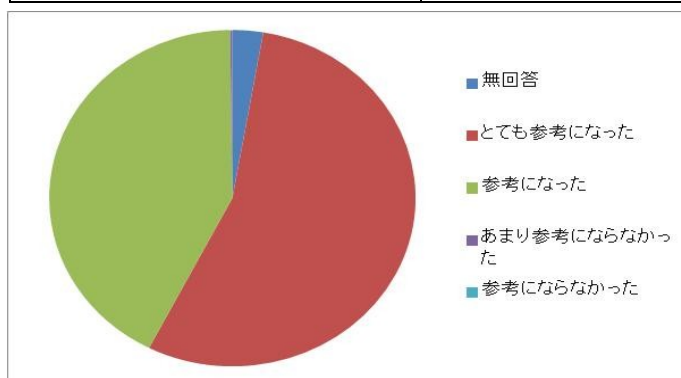
#### ④に関する意見・感想

- ・皆の保健室、つながりをつないでいくこと。解決することが、相談対応ではないこと。その人その人の思いを受け止め一緒に考えることが大事。
- ・全て参考になりましたが、特にオレンジキッズラボ。
- ・福祉の現場で働くものとして、原点に立ち返らされ、明日からやるべきことが見えた気がしました。
- ・地域で行う活動に、参考になった。動画も大変伝わってきた
- ・キッズラボ、みんなの保健室、在宅医療の範囲の広さにびっくり。もっと小さく考えていました。
- ・キュアからケアの社会へ よりそい、癒す医療がこれから必要。最期まで自分らしく生きることを考えさせられました。
- ・先日、桑名市での小児在宅医療研究会での話と全く同じだったのが残念でしたが、何度聞いても感動させられる実践です。
- ・自分自身今何ができるか考える事
- ・キッズケアラボすばらしい！しんすけくんに会いたい。Dr. の思いが伝わってきた。スタッフの笑顔が素敵でとても良いケア・キュアが行われているのがわかった。パワーポイントの資料が全部資料になくて残念であった。
- ・障がい者に対して未来があると思いました。全国に広がるといいね
- ・初の「キッズケアラボ」感動しました。たっぷりの時間をとってお聞きしたい、と思いました
- ・在宅医療でこんなに素晴らしいことを実際に行われていると知り、感動しました。
- ・保健室、テレビは直せなかったが、あそこに行けば聞いてくれるひとがいるということを知っている
- ・普通に健康に生きるというルールを歩けなくなったときすべてに否定された気持ちになります。しかし、自分の生活を中心に自分のルールをまた作れるような活動はとても必要
- ・在宅医療は出前ではない。皆の保健室 cure→care へ
- ・医療だけではなく、生活することの意義の中から活動を広げてみえるのに驚きました。
- ・医療の見本みたいを実行しておられる
- ・在宅医療の在り方 キッズケアラボ
- ・すばらしい講演でした。涙流しながら講演を聞くのは初めてでした。垣根を超えた支援、初めからダメだではなくやってみようと思う気持ちが行動となり地域で生きていくことにつながる事を学びました。
- ・在宅医療で患者に寄り添いいろいろな活動をしている姿がとても心に残りました
- ・些細なきっかけから、多種多様な取り組み、またその内容が参考になりました

- ・やる気があればできるということが理解できた
- ・生活に寄り添う医療を届けるという先生の取り組みに感動しました。私の従妹も長野で重度の寝たきりの子供を抱え30年も苦勞しております。先生のような取り組みが日本中に広まれたらと思いました。
- ・先生は福井ですね。私たちの近くに有るといいなと思いました。
- ・人間らしくいきる
- ・そのような活動は初めて知りました。
- ・生活に医療が道具として参加するという事 その人らしくを支えるを日々考える中で涙が出てきました
- ・素晴らしい取り組みで大きい病院より、紅谷先生の在宅医療の取り組みに感心した
- ・Care を大切に。在宅医療の良さを生かす（病院とは違う医療）
- ・ケアとキュー、決めつけることなく柔軟に考えることです
- ・患者と向き合う気持ちを前面に出せるか不安。
- ・参考というよりも感嘆しました。こういう事例があることを心強く思います。
- ・在宅医療、よりそう、癒すということ。
- ・医療と介護が人の生活を変えることができると思いました。
- ・在宅医療は病気の種類や重症度ではなく本人の意志で選択できるようになっていることがわかった。
- ・動画と説明が混ざりわかりやすかった。
- ・ただ治すだけでなく気持ちの部分も大切に思いました。

#### ⑤ディスカッション「これからの医療と介護どうなるの？」は参考になりましたか

無回答	14
とても参考になった	285
参考になった	220
あまり参考にならなかった	1
参考にならなかった	0

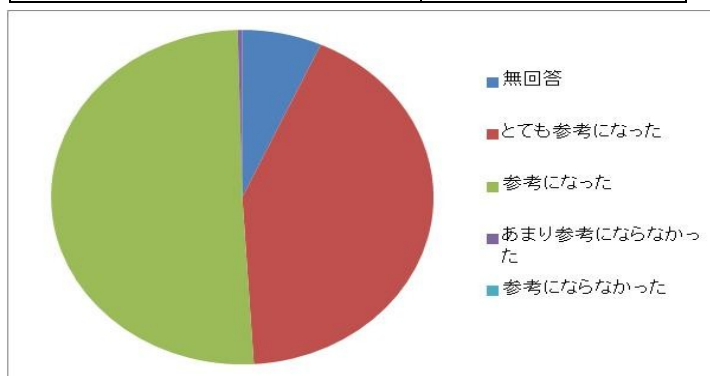


### ⑤に関する意見・感想

- ・ひとりひとりが担い手になること。
- ・自己意識を変える。
- ・竹中先生の感覚はとても参考になりました。テーマが曖昧すぎたのではないのでしょうか？  
荒川先生のまとめが中途半端になってしまったと感じました。
- ・ひとりぐらしなので参考になりました。
- ・医療と福祉の連携。
- ・自分の住んでいる地域で自分に何ができるか？少し参考になりました。
- ・お互い様と思えるようになるには年月がいる。
- ・行政絡みの話は少し難しい。
- ・医療と介護は生きてゆくうえで切り離せない問題。登壇者の話もつなげて話せると良い。
- ・やりたい事をやっていけばよいと思った。世の中それが当たり前になればよい。
- ・病院での医療、在宅医療の違い。そのむずかしさ。
- ・竹中先生の報告が参考になりました。
- ・近代の生活は昔の付き合い方と違い、助け合いの精神が失われているように思います。
- ・自分にできる範囲の支援でも効果（役立つ）があるのか？
- ・地域包括のB型がやはりわかりづらいです。すでに事業体としてしっかり活躍しているボラなら良いのですが、その他のボラはちゃんと活動できません。名古屋市がボラを市の介護事業に取り込む体制は地域で育ち始めたボラの芽をつむ逆効果です。
- ・高齢化社会と地域社会。

### ⑥対談「お互いさまのまちづくりって」は参考になりましたか

無回答	35
とても参考になった	220
参考になった	263
あまり参考にならなかった	2
参考にならなかった	0

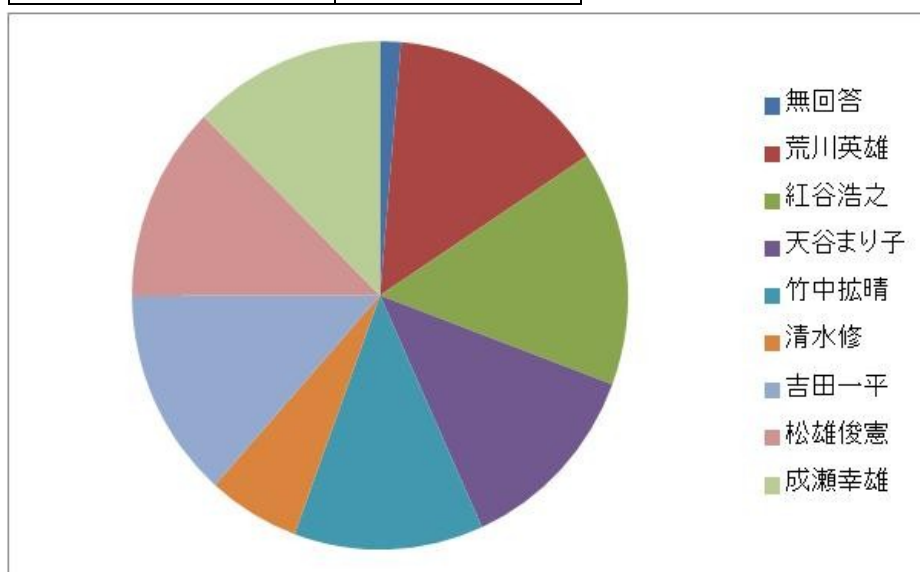


### ⑥に関する意見・感想

- ・行政と民間がこれからはコラボレートしてゆく。
- ・共生が参考になりました。老々介護ではなく老々支援としてがんばります。
- ・行政、市民のつながり方。生協のような組合と市民のつながり方。
- ・障がい者、健常者がお互いまわりまわってと理解しました。
- ・それぞれの立場からのお考えを聞くことができました。
- ・私もこの年齢で少しお手伝いすることに自信をもった。
- ・吉田氏の役所は市民にとってわずらわしい事をする。価値観を変えてゆくことが参考になった。
- ・南医療生協の手法が参考になった。
- ・名古屋市の地域包括ケアシステムと「お互い様」のまちづくり構想が参考になった。
- ・健常者も身体、精神の病の人も皆平等の恩恵を受ける権利がある事をあらためて思った。

### ⑦参考になった登壇者に○をつけてください（複数回答可）

無回答	12
荒川英雄	127
紅谷浩之	132
天谷まり子	111
竹中拡晴	109
清水修	83
吉田一平	118
松雄俊憲	110
成瀬幸雄	111

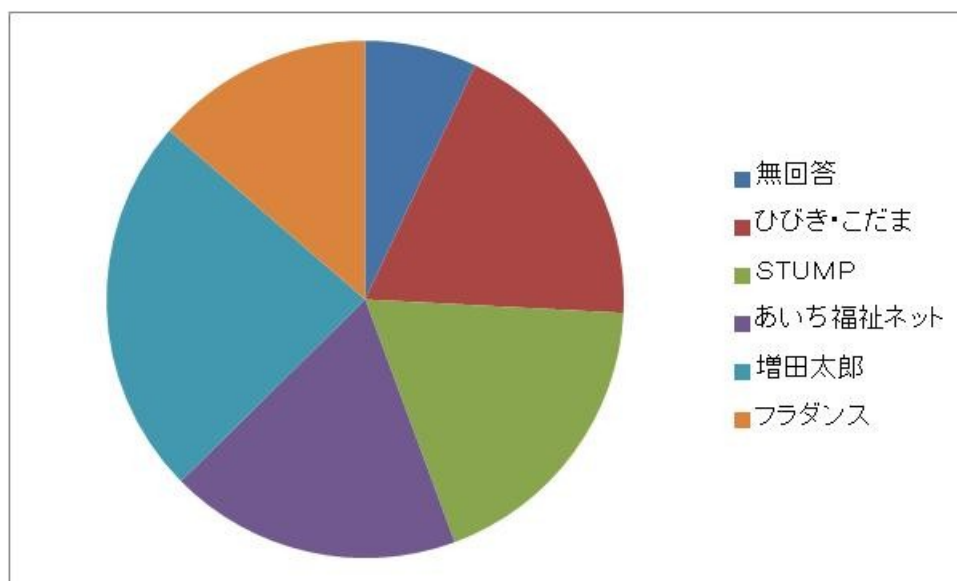


## ⑦に関する意見・感想

- ・おもしろい市長さんでした。
- ・吉田市長の雑木林、価値観の違う2つの場所のくだりが良かった。
- ・吉田市長が注目です。
- ・天谷さんの指導に関心をもった。
- ・みなさんのお話が参考になりました。
- ・天谷さんの訪問介護の話。紅谷さんの現場での笑顔。竹中さんの高齢化の話。
- ・荒川氏の話は分かり易い内容でした。
- ・吉田市長はとても真面目な方ですね。好感度大。
- ・全員良かった。引き続き勉強したい。
- ・紅谷氏の多種多様な取り組み、在宅医療の運用。
- ・吉田市長の考え方。
- ・吉田市長の人が一緒に生きてゆくという事は「だいたい」「ほどほど」が良いという話。
- ・紅谷氏。こんなドクターが近くに欲しい。
- ・紅谷氏の在宅医療の話が参考になった。
- ・成瀬氏のおたがいさま活動がよい。
- ・吉田市長のでこぼこ道の話がよかったです。
- ・成瀬さんの取り組みには敬服しております。(一緒になにかやれたらと思います)
- ・紅谷先生のキュアからケアの話が参考になった。
- ・成瀬さんのサルの話が印象的であった。
- ・天谷さんのネットワーク作り。
- ・紅谷氏の家が病院になってはいけないという話。
- ・成瀬氏の障がい者も働ける、社会を動かす力を持てるという部分。
- ・紅谷氏と天谷氏は実際の活動のイメージが湧きよかった。
- ・紅谷氏の話は共生を考えるフォーラムのテーマがよくわかった気がします。  
目からウロコです！

⑧よかった演目に○をつけてください（複数回答可）

無回答	23
ひびき・こだま	62
STUMP	61
あいち福祉ネット	60
増田太郎	78
フラダンス	45



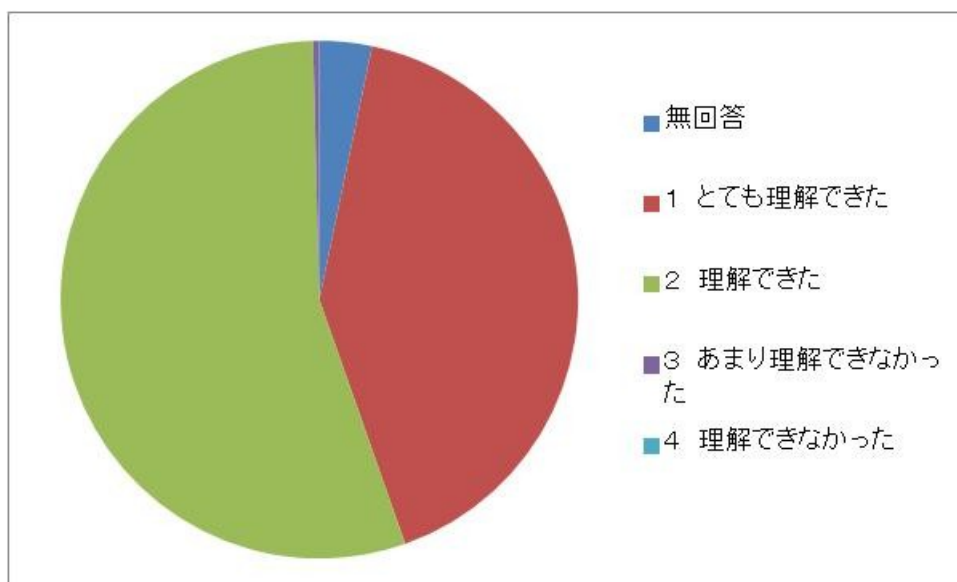
⑧に関する意見・感想

- ・増田太郎氏の歌がよかった。でも音が大きすぎた。
- ・ひびき・鼓打磨に元気をもらいました。
- ・ひびき・鼓打磨の子どもたちの力強い演奏が楽しかった。
- ・認知症紙芝居が押しつけがましくなくわかりやすかったと思います。
- ・増田太郎氏に皆を引き付ける力と誰でもやれる事があるというパワーを感じました。
- ・生のバイオリンに感動。ファンになりました。
- ・認知症紙芝居がいろんな方で読み分けてみえて良かった。
- ・STUMPのダンスが楽しかった。
- ・ひびき・鼓打磨、STUMPのリズム感到感動しました。
- ・増田太郎氏は強い精神力の持ち主ですね。感動しました。
- ・障害の人々への元気のプレゼントでした。
- ・障がい者でもがんばれる事を知った。
- ・認知症紙芝居、家族内での認知症にどのように寄り添っていくかを考えさせられた。
- ・みなさん素敵でした。

- ・STUMPのダンスが楽しそうでした。
- ・認知症紙芝居で忘れかけていた認知症の方への接し方を思い出しました。
- ・いろいろな演目があって良かった。みんながんばっているなど感じた。
- ・増田太郎氏の荷物を軽くするのではなく、背中を強くしてくださいという言葉。演奏はもちろんよかったが言葉に感動した。

⑨「共生を考えるフォーラム」をお聞きになってフォーラムの趣旨をご理解頂けましたか

無回答	17
1 とても理解できた	215
2 理解できた	286
3 あまり理解できなかった	2
4 理解できなかった	0



1と2を選択した方の意見・感想

- ・私は困った人やマナーの悪い人を見て見ぬふりができず、いつもおせっかいな所があるが、これからも困った人がいればもちつもたれつの精神で助け合おうと思う。
- ・参加したのが後半だったためディスカッションが聴けなかったのが残念。
- ・認知症のボランティア活動を始めたばかりですが今後の参考になりました。
- ・自分が生きる地域で何ができるかを考えるいいきっかけになりました。
- ・互助の必要性を実感した。
- ・今まで習ったこと、考えていたこと、現在の医療、福祉の考え方等がとても勉強になりました。
- ・共に生きてゆく共生。肩ひじ張らなくても良いんだと思いました。

- ・地域にある様々なニーズの発見。ただ利便性を追求するだけでなく、ほどほどに楽しんで取り入れていきたいと思います。
- ・年寄りと同居しているので参考になりました。
- ・大変勉強になりました。
- ・その人らしくを支える、医療従事者として自分たちのやれることをどうしたら地域でやれるかを、もう一度考えてみようと思います。
- ・自分もこれからのことに自信を持って進みたい。
- ・高齢者・障がい者を特別な存在と考えるのではなく、その人より学びたいと思う真摯な姿勢を大切に貢献していく。
- ・よくぞ集まったと思うメンバーです。友人を誘わなかったのを後悔しています。
- ・地域や規模の違いはあるが、いろんな活動があってよいと思う。
- ・明日からの活力、原動力になりました。
- ・共生を今、必要としているので考えていきたい。
- ・自分ができる役割を持つことが大切。どのような状態であっても、全ての人が対等でいられる包括ケアシステムを目指したい。
- ・地域に帰って、グループのみんなに伝えたいと思いました。
- ・気持ちを行動に移そうとすると、難しい壁を感じて歩みを止めてしまうが、もっと軽やかに進む気持ちを持ちたい。
- ・地域の人たちと共に支え合うことが大切だと思う。

### **3と4を選択した方の意見・感想**

- ・もう少し事例をたくさん聴きたかった。
- ・「共生」の定義が不十分だと思います。今回の内容は共生ではなく「まちづくり」に近いですよ。

### **⑩ご自由に意見をお書きください**

- ・とても参考になりました。名古屋もすてたもんじゃないな！と安心できました。
- ・名古屋市がどこまでやっていけるのか見てみます。
- ・いろいろな福祉、医療の勉強がしたいけど今回みたいに無料ではないし、家が遠いので交通費もかかります。これからもこういった無料のフォーラムを開いていただけると助かります。勉強になりました。
- ・次回も楽しみにしています。
- ・私は区政協力委員をやっています。最近地域内でのコミュニケーションが薄れて、人のつながりがなくなってきたような気がします。隣同士の朝のあいさつ、日常のあいさつから広げていきたいと感じました。



- ・今一番聞きたかった話が聞けました。
- ・今日は大変有意義で参考になる話をありがとうございました。
- ・有意義なフォーラムでした。
- ・多様な共生の道がある。
- ・長すぎる。疲れました。
- ・準備には、大変なエネルギーを要したと思います。私もささやかな、地域の運動に係わっています。
- ・新しい総合事業B型について前向きに検討すべきかと悩んでしまった。通所第一と考えているところと一緒に検討したい。
- ・盛り沢山な学習の機会をご提供いただきまして、ありがとうございました。
- ・こんなスバラシイ会なのに参加者が少ないのはもったいない。もっとPRしたら……！
- ・また次回も参加させて頂きたいです。ありがとうございました。
- ・初めて参加して色々福祉の事業があることを知りました。
- ・紅谷先生の取り組みに伴う、資金面はどうなっているのでしょうか？
- ・団塊の世代として、若い人たちに今よりはいい世の中を残したい。そのためにやれることを考えたいと思いました。
- ・ディスカッションで、色々な考え方が聞けて、勉強になりました。大きなことはできないけど、自分にできることを少しでもやっていきたいです。
- ・やらなければいけないがやれないでいた事、一步退いた自分を振り返り、涙が出てきました。何か一步を踏み出せばよいなと思います。
- ・どんな障がいがあってもがんばっている姿、とても心に残りました。
- ・今日は参加させて頂きまして、ありがとうございました。高齢化社会を迎え、かくれんぼ様の様な事業は本当に有難いです。理事長様をはじめスタッフの皆様のご活躍をお祈り申し上げます。
- ・共生についてのテーマは非常によかったと思います。

## 9 アンケート結果の公表について

本事業の報告書およびアンケート結果は事業関係者への送付および、特定非営利活動法人かくれんぼのホームページにおいても公表し、閲覧できる状態を保持する。また、補助事業者であるJK Aの事業報告ページからリンクし、広く一般の方の閲覧が可能な状態にするものとする。

## 10 事業成果に対する事務局の見解

### 事業の成果

- ・厚生労働省、名古屋市の協力を得て、行政の観点から「共生」に対する意見を提示できたこと。
- ・生協、地域医療にかかわる医師を招き、地域医療の観点から「共生」に関する意見を提示できたこと。
- ・障害者、高齢者の活動やNPOによる地域活動を来場者に紹介できたこと。
- ・参加者に「共生」について考え、行動するきっかけ作りとなったこと。

アンケートの集計結果から鑑みて本事業は行政、地域医療関係者、NPOの連携により共生社会を包括的に実現するための場として十分な成果を残し、参加者が共生について考え、行動するきっかけ作りとして有効であったと考えられる。実行委員会はこれらを本事業の成果として広く世間に提示するものである。

愛知県名古屋市北区金城町四丁目56番地  
共生を考えるフォーラム実行委員会  
特定非営利活動法人かくれんぼ



名古屋市北区金城町四丁目 47

特定非営利活動法人 かくれんぼ